

令和3年度小松市立向本折小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<p><あたたかな集団をつくる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期始めに、学校の現状にあった学習オリエンテーションを行い、どのクラスも学習規律が定着し、真剣に学びに向かう集団にする。 ・ほわほわ言葉を関連づけた生活目標の達成を目指し、あたたかい言葉遣いのできる集団にする。 ・元気なあいさつが自分からできる子、相手の立場に立って考え、行動できる子を育て、笑顔あふれるあたたかな学校にする。 		
	<p><児童の主体性を高める></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や学校行事など、児童が主体的に活動を計画・実施できるように支援し、児童の主体性を高める。 ・縦割り活動や児童会活動など、上学年の活躍の場をつくり、下学年があこがれる上学年にする。 		
道徳教育	<p><重点目標を要とし、思いやりのあるやさしい心を育む></p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標を校内や教室に掲示し、ふり返りの場を持つことで「やさしい心」への意識を高める。 ・学校での道徳的取組などを年3回、道徳通信で地域・保護者に発信する。 ・保護者や地域と連携し、家庭や地域の教育力を生かした授業実践を行う。 		
	<p><読書の質の向上を図る></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやかタイムが読書の日（月・水・木）は、必ず学級文庫（おすすめの本）を読み、チェックシートに記入する。 ・授業関連図書や月ごとの行事に合わせた図書を紹介し、他分類の本に多く触れる機会を設ける。 ・定期的に家庭に向けたお便りを発行し、家読を推進する。 		
人権教育	<p><自分と他者を大切にしようとする心を育む></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の学年で取り組む学習や行事の後に、手紙形式の振り返りを書き、異なる学年に渡したり、伝えたりする活動を行う。 ・道徳や学活、総合的な学習の時間等で、自分や友達のよいところみつけを行ったり、ありのままの自分を受け入れたりするなど自己肯定感を高めるための活動を行う。 ・多様性（外国ルーツ、障がい、LGBT等）を理解するための職員研修を行い、職員が多様性を理解し指導できるようにしていく機会を持つなど人権教育に関するSDGsの取組を推進する。 		
	<p><すこやかな身体を育む></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や持久走大会で、自分の目標を設定し、その目標達成をめざし、最後まであきらめず取り組む。 ・スポチャレいしかわのシャトルボールを通して、握力や瞬発力をつける。また、自分やグループ（全体）の目標を設定し、記録を更新することで体力向上を図る。 ・生活習慣とメディアのチェック習慣を学期に1回設け、児童の自覚化を促すことで実態の改善を図る。 		
情報教育	<p><ICT機器を活用して、児童が主体的に学ぼうとする姿勢を育む></p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じて、タブレットを使用する機会を作る。 ・ICT機器を利用し、自分の意見や考えを発表する機会を授業の中で設ける。 ・各学年の発達段階に応じて、プログラミング的思考を養うための授業を行う。 		
	<p><家庭・地域の教育力を活用する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を中心に地域人材を活用し、地域の特色を生かした体験活動を通してふるさとを愛する心を育てる。また、学校全体でSDGsを意識した取り組みを実践し、家庭・地域に発信していく。 		

学校関係者評価	
---------	--